



学びを深め、理論と実践力を
もった教員をめざして

修了生
から

徳丸 裕恭さん

生活支援看護学分野 母性・小児看護学領域

現在、大学の助手として勤務しています。実習などを通して学生と関わり、成長していく姿をみてやりがいを感じ、小児看護学の教員を目指しています。学生が主体的に考え、思いやりの心を持ち、人として成長できるように導いていきたいと考えています。その目標に向けて小児看護の学びを深め、理論と実践力を高めることが必要だと考え大学院へ進学を決めました。

共通科目では研究方法論や看護理論などを学び、専門科目では小児・母性看護学を中心に講義だけでなく、助産師や医師からの現場の話も聞くことができます。また総合大学のメリットを活かした看護と環境といった科目のように、学内の他学部の教科を受講することができます。横断的な学びによって研究の幅も広がり、多角的な視点で見ることの重要性を感じています。本学看護学研究科は昼夜開講制です。勤務状況に合わせて講義の時間を調整していただくことで、学業と仕事、家庭の両立が継続できています。



看護管理者として
マネジメントを学ぶ

修了生
から

川崎 由香さん

看護管理学分野 看護管理学領域

現在、総合病院心臓センターの心臓外科・循環器内科の師長として勤務し、15年以上看護管理者として、看護サービスや看護師の育成や職場の定着など、日々の課題と向かい合いマネジメントをしています。また集中ケア認定看護師の資格を持ち、院内急変対応チームの一員として活動も行っています。

これまで管理者としてマネジメントが感性や感覚に頼ってはいないかと疑問が芽生え、いかに看護師の定着を促進し、看護のクオリティを維持するかというのを自分の課題として、研究に取り組むことで、突破口を見つけられるのではと思い、大学院の進学を決めました。講義やゼミでは、日常の実践とすり合わせながら看護管理を深めることができました。先生がたの手厚いサポートのお陰で、探求したい事柄について熟考する機会が得られ、論理的な思考や概念化能力が向上したと感じています。試行錯誤の繰り返しから得られる充実感を、みなさんも感じてほしいと思います。



看護の視野を広げ、
研究を進めていく

修了生
から

小原 聖子さん

生活支援看護学分野 母性・小児看護学領域

臨床に出て25年、看護師として海外を含め様々な場所で従事してきました。現在は大学院での研究テーマとした放課後デイサービスで、障害や医療的ケアを必要とする子どもと、その家族を支える仕事をしています。大学院への進学の理由は、以前訪問看護をしているとき、ケアを必要とする子どもを持つ家庭への支援やサービスが平等ではないと感じ、その疑問を突き詰めたいためから決意しました。

大学院での研究では、臨床での実践を経験してきたことで、難関に思えた理論や方法論も納得できました。論文作成では、丁寧に、そして辛抱強く導いていただきました。振り返れば、先生がたは一人の研究者をどう育てていくかのロードマップがイメージされていたと思います。大学院への進学は看護の視野を広げ、研究を進めていくうえで人間関係を広げ、進むべき方向を導いていただき、得るものが多い貴重な2年間でした。



「看護とは何か」を
見つめ直す機会に

修了生
から

寺島 直美さん

療養支援看護学分野 療養支援看護学領域

現在、看護師としてケアミックス病院の地域相談連携室の退院支援を担当しています。在宅療養へ移行する患者さんやご家族が、地域で安心して療養生活が送れるようにサポートしています。看護師として長く働くうちに、「看護とは何か」「自分の看護スキルは」など、疑問や葛藤を抱えるようになり、自分の力だけでは解決できない壁にぶつかりました。そのような時、本学看護学研究科のホームページを目にする機会があり、教育方針や学びの環境に惹かれました。看護の在り方を学び、専門性を高めることで、疑問や葛藤の解決に繋がるのではないかと思います。2年間の学びを振り返ればレポートや研究は想像以上に大変でしたが、先生がたの指導で、論理的思考を導きだせるようになりました。教育体制は非常に充実していたと実感しています。いままでとは違った視点を持ち、行動できる自分に驚いています。そして、共に学ぶ仲間と出会えたことも一生の宝となりました。

学費・奨学金

初年度学費・その他、諸納金の詳細は本学ホームページまたは学生生活課までお問い合わせください。大学院生のための経済支援として給付型奨学金制度を設けています。

学生生活課
Tel 045-786-7012



大学院入試情報

8月募集

2024.9.22 出願期間：7/26(金)～8/2(金)必着

1月募集

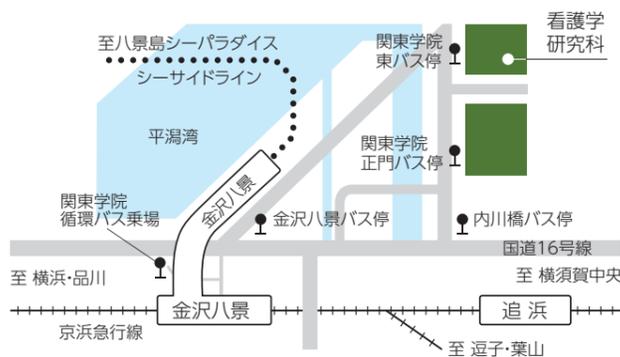
2025.2.22 出願期間：1/10(金)～1/17(金)必着

※詳細は、学生募集要項にてご確認ください。
※出願をご検討の場合は、事前にご相談ください。
※看護師免許のない方も出願できます。

試験区分 | 試験科目 | ● 一般入試：専門科目、英語、面接 ● 社会人入試：英語、面接

https://ao.kanto-gakuin.ac.jp/admissions_info/others/graduate/ E-mail nyushi@kanto-gakuin.ac.jp
入試に関するご相談は関東学院大学アドミッションズセンター Tel 045-786-7019

事務取扱時間/月～金曜 9:00～16:00 (11:10～12:10を除く) 土曜 9:00～12:00 (日・祝日・夏期・冬期休業期間を除く)



関東学院大学 大学院看護学研究科
(横浜・金沢八景キャンパス)

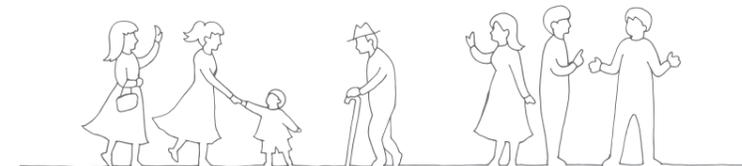
https://univ.kanto-gakuin.ac.jp/

〒236-8503 横浜市金沢区六浦東1-50-1

- 下車駅：京浜急行線・シーサイドライン「金沢八景駅」
- 「金沢八景駅」からキャンパスまで徒歩約15分
- 「関東学院循環」バス乗場から京浜急行バス(関東学院循環)で約5分
- 「関東学院東」下車すぐ(運休期間あり)。
- または、「金沢八景」バス停から京浜急行バス(日産自動車前行き)で約5分
- 「内川橋」下車徒歩約5分



大学院
看護学研究科
看護学専攻



関東学院大学 大学院看護学研究科



委員長あいさつ

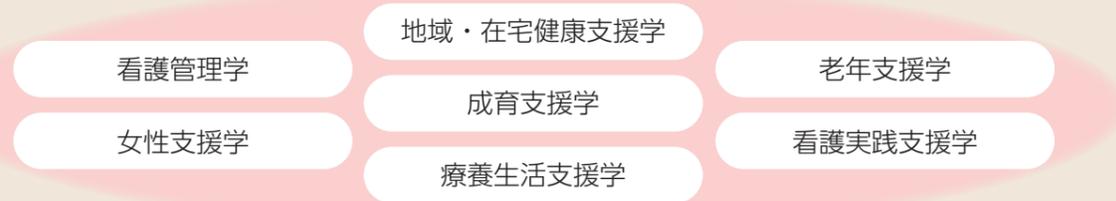
新たな可能性を信じ、研究のプロセスを通じて解決していく方法を学ぶ

西岡 久美子 教授 看護学研究科委員長

関東学院大学大学院看護学研究科は2017年に開設しました。現在は、ライフスタイルにあわせた学修環境や学びを深める体制を整えています。特に、自らの専門領域を探求するために、専門分野の教員の他、臨床現場や専門分野で活躍されている方の招聘、多様な学問背景にあわせた多彩な共通科目・連携科目の履修など、研究科全体でアットホームな雰囲気の中で、じっくり、手厚く、研究の基礎から一連の流れで学んでいただくことが可能です。

私たちの生活のあらゆる場で活動する看護を学問として捉え、改めて大学院で学ぶことは、ご自身の新たな可能性を広げることへの第一歩になるでしょう。県内外・看護師資格の有無を問わず、より多くの方と看護に関連した現象や課題を語り合い、味わい、そして研究というプロセスを通じて解決策が導き出せるよう共に成長しましょう。そして修了時には知識や研究成果を皆さんの目指される現場に活用して頂けることを願い、教員一同お待ちしております。

● 学びを支える7科目区分 ●



● 看護研究科 学びの特徴・制度 ●

<h3>昼夜開講制</h3> <p>ライフワークにあった就学ができる昼夜開講制を整備しています。</p>	<h3>長期履修制度</h3> <p>通常の修業年限(2年)と同じ授業料で3年間あるいは4年間かけて計画的に履修し、学位取得を目指します。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">通常2年の履修</th> <th>3年</th> <th>4年</th> </tr> <tr> <td>2年次</td> <td>3年次</td> <td>3年次</td> <td>4年次</td> </tr> <tr> <td>1年次</td> <td>2年次</td> <td>2年次</td> <td>3年次</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1年次</td> <td>1年次</td> <td>2年次</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1年次</td> </tr> </table>	通常2年の履修		3年	4年	2年次	3年次	3年次	4年次	1年次	2年次	2年次	3年次		1年次	1年次	2年次				1年次
通常2年の履修		3年	4年																		
2年次	3年次	3年次	4年次																		
1年次	2年次	2年次	3年次																		
	1年次	1年次	2年次																		
			1年次																		
<h3>オンラインの活用</h3> <p>原則的には対面授業ですが、院生の勤務状況等によっては、オンラインを活用して学ぶことも可能です。</p>	<h3>充実した学修環境</h3> <p>他研究科との連携科目や県内大学院学術交流協定を活用した履修が可能である他、多くの非常勤講師招聘により、幅広い学修を支援します。</p>																				

【学位】看護学専攻 修士(看護学)

看護学研究科の詳細については、ホームページをご覧ください。



社会と人の幸福に貢献する
看護のスペシャリストをめざすあなたへ。

● 担当教員

研究指導教員への相談はアドミッションズセンターを通しての実施になります。ご希望の方は、お気軽にアドミッションズセンターまでご連絡ください。

<h3>看護管理学</h3> <p>渡辺真弓 講師</p>		<h3>地域・在宅健康支援学</h3> <p>若林和枝 准教授 (研究指導教員) 森實詩乃 准教授</p>	
<h3>老年支援学</h3> <p>青木由美恵 教授 (研究指導教員) 留畑寿美江 准教授</p>		<h3>成育支援学</h3> <p>飯尾美沙 准教授 (研究指導教員) 永田真弓 教授 (研究指導教員)</p>	
<h3>女性支援学</h3> <p>勝川由美 准教授 ケニヨン充子 教授 (研究指導教員)</p>		<h3>療養生活支援学</h3> <p>西岡久美子 教授 (研究指導教員) 木下里美 教授 (研究指導教員) 川島徹治 准教授</p>	
<h3>看護実践支援学</h3> <p>島田多佳子 教授 佐藤亜月子 准教授</p>		<h3>関東学院大学について</h3> <p>関東学院は、創立以来130年以上にわたり、横浜の地でキリスト教の精神に基づく人格教育を継承してきました。関東学院大学は、現在では11学部14学科9コース、5研究科を擁する総合大学として、その強みを生かした教育や研究活動に加え、地域・社会連携、国際貢献、学生スポーツ、文化活動、ボランティア活動なども活発に行われています。</p>	

● 研究環境 ●

総合大学のメリットを生かした教育環境

総合大学の設備や環境を活用しながら、研究を進めることができます。計3つの図書館には豊富な蔵書や電子ブック・ジャーナルを取り揃えています。各キャンパスの蔵書やオンラインで複写依頼した論文を、どの図書館でも受け取ることが可能です。



エテルニエ



図書館

▼自習室(院生室)

院生が自習したり、院生同士が交流したりできる学習室が、看護学研究科のある横浜・金沢八景キャンパスにあります。

▼コピーカード

資料準備や論文作成のための文献収集など、年間3000枚まで利用できるコピーカードを配布しています。

▼研究成果の発表

研究成果を発表する場として、「関東学院大学看護学会誌」を発行しています。在籍だけでなく、修了後にも投稿資格があります。

▼研究助成

申請された方は助成金を活用して、研究活動に必要な経費を得ることができます。

